



爽 緑

銚子市立明神小学校学校便り
VOL.14 令和5年10月17日

令和5年度 学校教育目標 「心豊かに自律できる子どもの育成」 ~かしこく やさしく たくましい 明神っ子~
『学校は子どもにとってワクワク・ドキドキできる場所』

修学旅行

9月28日（木）、29日（金）の2日間で鎌倉・河口湖方面の修学旅行を実施しました。昨年度は3年振りに宿泊を伴う修学旅行の再開となりましたが、今年度はコロナ禍以前と同様に、全ての行程において制限のない修学旅行を実施することができました。バスレクや朝夕の楽しい会食、見学先やホテルでの交流など、子供たちは、修学旅行の醍醐味を存分に味わうことができたと思います。



6年生の子供たちには、修学旅行前日の「出発式」で次のようなお話をしました。

「決められたルールやマナー」を守ることはもちろん大切なことですが、それだけではなく「このルールの意味って何だろう。」「この決まりは何のためにあるのだろう。」と考えられる人になってほしい。時には、その内容に疑問を持ってもいい。必要があれば「これはいらない。」とか「もっとこんなことを追加した方がいいんじゃないか。」と自分たちで、自分たちのために、考えて創り出せる人になってほしいと思います。その時、考えの基準になることは何か、それは「自分だけでなく周りの人が気持ちよくできることを考える。」ということです。

ただし、みんなで考えたとき、人と考え方や価値観が違うのは当たり前、それをどのようにすり合わせていくのが大切なのだと思います。修学旅行では、命に係わる事故や事件は絶対にあってはなりません。しかし、意見、考えの違いやトラブル、失敗は起きても O.K.。そこから皆さんが、皆さんのために、どのようにすり合わせていくのが一番大切なのです。

バスの中で印象に残った光景がありました。

バスレクのクイズを作るためのルールについて、子供たち同士で話し合っているとき、「人の名前を使ったクイズを作ることはなしにしよう。名前が使われて嫌だと思えるからね。」という意見が出されたり、2日目に疲れて寝ている人が多い時間帯には、予定を変更して全員が参加しなくてもできるレクを自分たちから提案したりしていました。

子供たちは、この修学旅行をとおして、たくさんのことを学んでいるのだと実感しました。そして、自分たちのために、自分たちで考えて行動しようとしている姿に成長を感じ、とても嬉しい気持ちになりました。

高学年の代わりに

普段は、朝のボランティア活動として玄関前や学校下の坂などの落ち葉掃きなどを高学年の子供たちを中心に行ってくれています。しかし、10月11日（水）・12日（木）と高学年が朝のボランティアに参加できない状況だったので、「朝のボランティア活動はできなくても仕方がない」と思っていました。ところが、この2日間の朝、多くの3年生や2年生、1年生が高学年の代わりに、朝のボランティア活動（落ち葉掃き）に協力して取り組んでいました。



高学年がいない時も「自分たちにできること」を考え、一生懸命に取り組めたことを、とても頼もしく思います。今回の経験を、今後の学校生活につなげ、周りの人のためにできることを、どんどん実行して行ってほしいと思います。